

「若年未婚者の世帯状況」

山本千鶴子（国立社会保障・人口問題研究所）

「イスラム法と家族計画」

藤田純子（大妻女子大学）

第1報告はヨーロッパ各国政府の政策と出生率の関係について、第2報告は未婚男女の親との同居の動向について、第3報告はイスラム法の避妊・中絶に対する態度について、各々貴重な情報を提供した。多くの会員が参加し、活発な討論が行われた。（鈴木 透記）

第57回日本公衆衛生学会総会

日本公衆衛生学会の1998年度大会（会長：岩田弘敏 岐阜大学医学部教授）は10月28～30日にわたり、岐阜市（長良川国際会議場ほか）で開催された。全体の催しとしては以下のような会長講演、特別講演、シンポジウム等が行なわれた。

会長講演 これからの公衆衛生のサイエンスとアート

岩田弘敏（岐阜大学医学部教授）

特別講演1. ブレイクスルー思考と公衆衛生

日比野省三（中京大学社会学部教授）

2. 生活習慣病の歴史と21世紀におけるこの病気への対応

日野原重明（聖路加国際病院理事長）

シンポジウムI「公衆衛生の科学と技術の未来像」

II「課題解決型と地域づくり型の地域保健活動」

III「公衆衛生活動の評価」

IV「公衆衛生と倫理」

一般演題は、6つのミニシンポジウムと18の分科会（示説のみ）に分かれて行われ、演題数は合計約1,200題にのぼった。そのうち人口研究ともっとも直接的な関連のある分科会といえば、第1分科会「疫学・保健医療情報」であるが、広い意味での人口・社会保障問題との関わりという視点からみれば、公衆衛生のすべての分野が関わるともいえる。「健康教育・ヘルスプロモーション」、「地域保健・地域医療」、「成人保健」、「母子保健」、「老人保健」、「環境保健」、「国際保健」などの分科会にも興味深いものがあった。（佐藤龍三郎記）

第63回日本民族衛生学会総会

日本民族衛生学会の1998年度大会（会長：多田 學 島根医科大学環境保健医学教授）は11月5～6日、島根大学教育学部（松江市）で開催された。初日は下記の特別講演、会長講演、シンポジウムが行なわれた。

特別講演I. 国際化時代における保健医療協力の課題

松田 朗（国立医療・病院管理研究所所長）